

LRT 沿線駅周辺区間景観づくり通信

Vol.1

発行：令和2年12月（宇都宮市 都市整備部 景観みどり課）

● 景観づくりの取組をスタートしました

宇都宮市では、LRTの車両が走行する風景が本市の新たなイメージの創出につながることから、LRTの車両と沿線の街並み等が調和した都市空間の形成に向け計画的に取り組むため、令和2年3月に、「LRT沿線の景観形成方針」を策定しました。

本方針では、景観の特性等によりLRT優先整備区間約12kmを6つの区間に設定し、区間ごとに景観形成に取り組むこととしました。そのうち、「駅周辺区間」として設定した、JR宇都宮駅東口から国道4号までの鬼怒通り周辺のエリアについて、地域の皆様のご意見を伺いながら検討するため、景観づくりワークショップを開催することとしました。

● 第1回ワークショップについて

テーマ 駅周辺区間の景観について考えよう！

第1回は「駅周辺区間の景観について考えよう！」というテーマで、会場に貼られた鬼怒通り沿道の写真を見ながら、普段見慣れているまちに対して良いと思うところ、良くないと思うところ、今後の景観づくりのアイデア等、様々な意見を出し合いました。

日時 | 2020年11月26日(木)
10:00~12:00

場所 | 今泉地域コミュニティセンター
会議室 A・B

参加者 | 11名(今泉南自治会、宿郷東自治会、宿郷西自治会から各数名)



昔の絵図や航空写真を見ながら、宇都宮駅～国道4号のまちの姿について振り返りました。



現在の街並みの写真を見て、景観について良い又は良くないと思うところ等の意見を出しました。



「自分もそう思う」と思った意見にシールを貼り、景観について思うことを発表・共有しました。

まずは、駅周辺区間の景観について、

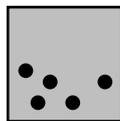
良いと思うところ

良くないと思うところ

それ以外に
思うことや
知っている
こと等

を付箋に書きました！

他の人の付箋を見て「自分もそう思う」と思う意見にシールを貼り、どういう意見にシールを貼った等をみんなで共有しました！



主なご意見

- ・何気なくLR Tから外を見たときに、街に統一感があったり、面白さがあったりすると良い。
- ・学校等と協力して新たに緑をつくれると良い。
- ・周りと比べて派手な色の店舗があり気になる。
- ・夜は暗い印象がある。

等



● 今後の進め方

LR Tが走行することによる「駅周辺区間」の景観づくりについて考えるため、今年度は下記のテーマで、あと2回ワークショップの開催を予定しています。ワークショップでいただいたご意見等は、今後も景観づくり通信で地域の皆様にお知らせしていきます。

- ★ 第2回「(仮) 駅周辺区間の景観をより良くするためには何が必要か考えよう！」
- ★ 第3回「(仮) 景観づくり活動の方向性を考えよう！」

【コラム】 駅周辺区間の発展の経緯

J R宇都宮駅東口から国道4号までの区間は、宇都宮駅東口の開設及び中心市街地に通ずる幹線道路整備に併せて施行された宇都宮駅東土地区画整理事業によって造成された市街地です。宇都宮駅東土地区画整理事業の施行以前は、鉄道沿線に宅地が形成され、現東雲通り以東は農地が広がっていました。



宇都宮市及郊外全圖
(宇都宮市著・集英堂書店出版、昭6)

※一部抜粋及び加工
二荒山神社や宇都宮城の周辺だけではなく、宇都宮駅の東側にも、既に街が形成されていることが分かります。
図出典：国立国会図書館デジタルコレクション



昭和23年国土地理院空中写真

図出典：国土地理院



宇都宮駅東土地区画整理事業の施行前(左：昭44)と施行後(右：平6)

図出典：宇都宮の区画整理
(宇都宮市土地区画整理組合連合会、平成6年3月)